

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.102 2003.2.20

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15 (学) 産業能率大学内 日本教育情報学会 運営本部事務局
Tel:03-3704-9168 Fax:03-3704-9246 <http://www.soc.nii.ac.jp/jsei>

日本教育情報学会第19回年会のご案内 8月上旬大阪学院大学を会場に開催～発表申込み受付中～

本年度の第19回年会は8月9日10日に大阪学院大学を会場にして開催いたします。本日、大会の概要と研究発表の応募に関する内容をお知らせいたします。

下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きしていただきますようお願いいたします。多数のご参加とご発表をお待ちしております。「おいでやす大阪に！」

期 日 2003年8月9日(土)・8月10日(日)

会 場 大阪学院大学

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号

Tel (06)6381-8434 (代表) URL <http://www.osaka-gu.ac.jp>

交 通 JR東海道本線「岸辺」駅または阪急京都線「正雀」駅から徒歩約5分。

「岸辺」駅へは「新大阪」駅から普通電車で8分、「大阪」駅から同じく普通電車で12分。「正雀」駅へは、阪急梅田駅から22分です。

交通案内: <http://www.osaka-gu.ac.jp/location/index.html>

事務局 大阪学院大学経済学部白川研究室内

日本教育情報学会第19回年会実行委員会

日 程 (時間は予定)

8月9日(土) 1日目		8月10日(日) 2日目	
9:30 10:00~12:00	受付開始 シンポジウム 「ブロードバンド時代の 学校教育」	9:30 10:00~12:00	受付開始 [午前の部] 課題研究発表 一般研究発表
12:00~13:00	昼食・休憩 (理事会・評議員会)	12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~14:00	総会・学会賞表彰式	13:00~17:00	[午後の部] 一般研究発表
14:00~17:00	[午後の部] 課題研究発表 一般研究発表		
18:00~	懇親会		

(1) シンポジウム・パネルディスカッション

テーマ 「ブロードバンド時代の学校教育」

【趣旨】政府のミレニアム・プロジェクトにより開始され、さらに「e-Japan」計画に引き継がれた学校の情報化は、2001年にすべての公立学校がインターネットにつながり、2003年には校内LANが設置され、2005年には、すべての教室からインターネットにアクセスできるという教育環境が実現されます。しかしながら、こうしたハードウェアの発展に対して、そのような設備をいかに教育に活かすかという広い意味でのソフトウェアは、まだまだはっきりしていません。同じく「e-Japan」計画には、「2005年までに学習資源のデジタル化と学校導入」が謳われているが、その具体的な動きは、まだ全体としては見えていない。ハードの着実は導入に比べ、ソフトはもう一つの面があるといえる。

2003年の日本教育情報学会の第19回年会は、こうした状況に対応して、進んだ教育環境をいかにして活用するかに焦点を当てて、「ブロードバンド時代の学校教育」について考えようと思います。

このためシンポジウムでは、コンピュータを学校教育に活かしている先進事例を紹介し、それについての質疑応答をおこないます。どうぞ、ふるってご参加ください。

【コーディネータ】 白川雄三（大阪学院大学教授）

【パネリスト】 大阪学院大学情報教育担当スタッフ、追手門小学校竹内教諭他

【コメンテータ】 西村慶一（大阪学院大学教授）

(2) 課題研究テーマ

課題1. 「e-ラーニング」

ブロードバンドが普及するにつれて、VOD (Video-on-Demand) によるデジタル動画コンテンツの配信等や、WBT (Web Based Training) システムやインタラクティブな Web 教材を利用した新しい教育システム、いわゆる「e-ラーニング」が普及し始めている。専門学校教育や、大学教育にも取り入れられ始めている。こうした新しいシステムの特質について議論し、現在までの遠隔教育との相違を明らかにし、今後の発展について検討したい。

課題2. 「校内ネットワークの活用・情報共有」

校内ネットワークが施設されるとともに、ネットワークの利用と情報の共有について検討をされなければならない。教師の知恵を共有する道具としてのナレッジマネジメントの必要性についても考えたい。今はその場で消えていってしまっている知識、技能、判断、ノウハウ、人物など様々な情報のDBを構築することについて議論したい。さらに学校用グループウェアやデジタルポートフォリオの利用、情報の安全性などについても検討したい。

課題3. 「情報教育と総合的な学習」

総合的な学習元年を間近に控え、現場ではカリキュラムや評価、メディアリテラシーや小学校における英語活動など、実践的な課題が取り上げられてきている。これらの課題を情報活用能力とかわらせながら議論していきたい。

課題4. 「地域教育センターの役割」

ブロードバンド時代の学校教育をささえる「縁の下の力持ち」的役割は、地域の教育センターが受け持たねばなりません。ドメイン名の設定から、生徒や先生のメールアドレスの割り振り、サーバーの管理まで、教育センターは新たな役割を担わなくてはなりません。このような教育センターの役割について、実際に活躍している先生をお招きして、議論していきたい。

(3) 一般研究発表

- ・発表内容は「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。「教育情報」は、大きくみて「教育に関する情報」と「情報に関する教育」が含まれています。
- ・これまでの発表セッション（キーワード）は次の通りです。

インターネット，遠隔教育，遠隔教育システム，遠隔協働学習，学習ソフトウェア開発，学習評価，教育システム，教育用ソフトウェア，共同学習，交流学習，コンテンツ，シミュレーション学習，授業分析，生涯学習，情報教育，情報教育カリキュラム，情報教育システム，情報教育の展開，情報教育リーダー育成，情報教材開発，情報検索，情報システム開発，情報処理教育，データベース，ネットワーク，ネットワーク活用，ネットワーク活用学習システム，プレゼンテーション，ホームページ，マルチメディア

(4) 研究発表申込み方法

申込締切 2003年 5月10日(土)

申込方法 課題研究は「課題研究発表申込書」(申込用紙左側)，一般研究は「一般研究発表申込書」(申込用紙右側)に必要事項をご記入の上，年会実行委員会事務局へ郵送してください。

課題研究に関する注意事項

- ・ 課題研究は前記「課題研究テーマ」から選びそのテーマに合った研究発表題目をつけてください。
- ・ 課題研究発表は年会実行委員会で調整し，各テーマごとに担当コーディネータが検討し，審査します。その結果，発表否となる場合もあることをあらかじめご了承ください。なお，課題研究として発表できない場合には，一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことができる場合があります。
- ・ 第1発表者として課題研究発表は，1人につき1件のみとします。ただし，年会実行委員会から特に依頼された課題研究発表についてはこの限りではありません。

一般研究に関する注意事項

- ・ 一般研究は対象者層と考えるセッション番号を「対象者層」欄にご記入ください。
- ・ 第1発表者としての一般研究発表は，1人につき1件のみとします。
- ・ 一般研究発表の発表者は，発表の時点で会員である必要があります。非会員の方は，事前に学会入会の手続きをしてください。学会入会申込書は年会事務局にご請求ください。

発表申込書の書き方について

- ・ 講演者とは，研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ・ 共同研究者は何人でもかまいません。
- ・ 概要はなるべく詳細に書いてください。
- ・ キーワードとして，前記発表セッション名の中から数語を含めて10語以内を選んでください。
- ・ 会場で使用できる機器は，OHPとVTRとプロジェクタです。パソコンは会場で用意できませんので，使用する場合には持参する機器の欄に記入してください。
- ・ 執筆要項などの送付先は，発表者への連絡時期である5月下旬を想定して，自宅または勤務先をしてください。

(5) 発表者への連絡

発表者には，5月下旬に発表の可否を連絡します。

発表を可とされた申込者に対しては，論文の執筆要項をお送りします。

論文の原稿枚数は2枚または4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で，ワープロ出力したものを提出していただきます。

(6) 参加費について

- ・ 会員事前申込締切日まで

参加費 3,000円 資料代 3,000円 懇親会費 4,000円(予定)

- ・ 会員(当日)・非会員

参加費 4,000円 資料代 3,000円 懇親会費 4,000円(予定)

- ・ 地域の方

地域の方の参加を歓迎します。地域の小中高の先生方等の参加費などは，年会事務局へお問い合わせください(メールなど)。

今回のご案内は発表申込みです。当日参加のお申込みは、後日送付する「参加申込書」を郵送し、同じく後日お送りする「年会参加費振込用紙」をご利用ください。
本日同封している振込用紙は、学会年会費の振込用紙です。お間違いのないようお願いいたします

(7) 宿泊について

・大学近郊に宿泊施設は多数あります。宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。

(8) これからのスケジュール(予定)

発表申込締切	2003年5月10日(土)
発表決定通知	2003年5月20日(火)
論文提出締切	2003年7月10日(木)
参加申込締切	2003年7月31日(木)
参加費支払締切	2003年7月31日(木)

発表申込書送付先・問い合わせ先

送付先：〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番
大阪学院大学 経済学部白川研究室内
日本教育情報学会第19回年会実行委員会
Tel (06)6381-8434(代表) URL www.osaka-gu.ac.jp
メールによる問合せ：白川雄三 (nenkai19@utc.osaka-gu.ac.jp)

年会費お支払いのお願い

間もなく2003年度がはじまります。新年度の会費の振込用紙を同封いたしますので、手続きをお願いいたします。

本学会は、会員の皆さまからの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、02年度までの年会費のお支払いが、まだお済みでない方は新年度会費と合わせて手続きくださいますようお願いいたします。

******* 退会される方へ *******

退会届の特定の書式はございません。退会される方は、A4の書面(郵送またはFAX)で、事務局までご提出ください。

記載事項は、退会の旨、会員番号、氏名、届出日、退会期日(年度)、印です。その他に連絡が必要と思われる事項がありましたら、合わせてご記入ください。

なお、未払いの過年度分の会費は、お支払いくださいますようお願いいたします。

また、退会後にも過年度中に発行予定の刊行物を送付する場合がありますので、ご了承ください。これらも一切不要の場合は、退会届にその旨をご記載ください。